

- スマート農業技術を活用した**グリーンな栽培体系への転換**や「**ぎふ清流GAP**」の**実践**等を推進するとともに、有機農業者のネットワーク化やアンテナショップでの情報発信の強化等による流通・消費の促進を図り、持続可能な農林水産業と食料システムの構築を目指す。

【作成主体】 岐阜県及び県内全42市町村

【計画の主な目標】

- ・ 有機農業の取組面積 127ha (R9)
- ・ グリーンな栽培体系への転換実施地区 10地区 (R9)
- ・ ぎふ清流GAP実践率 35% (R7)

【取組のポイント】

- ・ スマート農業技術などの省力化技術と環境に配慮した栽培技術を組み合わせたグリーンな栽培体系への転換を推進
- ・ 特産品や伝統野菜などの地域の気候や特性に合った作物を選定し、有機農業の取組面積を拡大
- ・ 「ぎふ清流GAP評価制度」の技術面でのフォローアップを強化し、環境負荷低減と経営強化の双方にバランスのとれた農業を実践
- ・ 有機農業者のネットワーク化等による幅広い販路に合わせた流通システムの構築や、県内外のアンテナショップやSNS等での情報発信の強化により、環境に配慮した農産物の流通・消費を促進

【特定区域の設定】

<白川町（全域）>生産者組織「ゆうきハートネット」を中心とした栽培技術の蓄積・継承や担い手確保等による有機農業の産地形成



有機農業の営農モデル現地検討



ぎふ清流GAP
評価制度のロゴマーク



アンテナショップでの
情報発信